

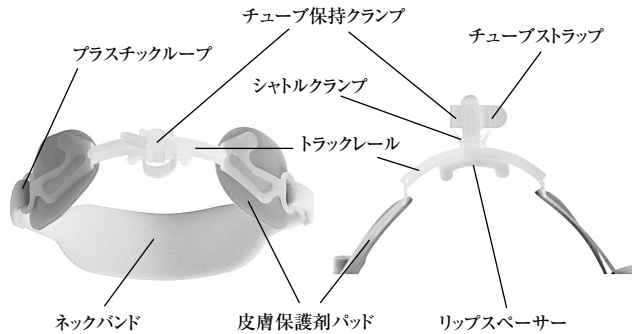
機械器具 51 医療用嘴管及び体液誘導管
一般医療機器 カテーテル固定用パッチ (JMDNコード：70328000)

アンカーファスト

再使用禁止

【禁忌・禁止】
・再使用禁止

【形状・構造等】



【皮膚に接触する部分の原材料】

皮膚保護剤パッド：ハイドロコロイド
リップスペーサー：発泡エチレン・酢酸ビニル共重合体
ネックバンド：ポリエステル、ナイロン

【使用目的、効能又は効果】

気管内チューブの固定

【品目仕様等】

*使用可能なチューブの内径 5~10mm

【操作方法又は使用方法等】

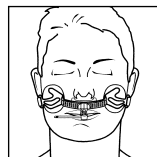
【装着の前に】

患者の装着部の皮膚を清拭し、よく乾燥させ脂分が残らないようにする。

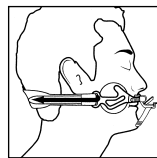
注意 スキンジェルやローションなどは使用しないこと。

【装着方法】

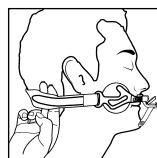
- 左右二つの皮膚保護剤パッドから剥離紙をはがす。本品を、フォーム状リップスペーサーがちょうど上唇の上の皮膚に軽く触れるように置いて位置決めをした後、両方の皮膚保護剤パッドを皮膚にしっかり押し付け、そのまま約30秒間保持する。このときチューブ保持クランプは上唇の約1cm下方に位置している。(右図1)
- ネックバンドを首に巻き片方の端を皮膚保護剤パッドの上にあるプラスチックループに通して面ファスナーを仮止めする。ネックバンドに緩みやたるみがでないように調整し、左右の面ファスナーを均等にしめる(右図2)。このとき、きつく締め過ぎないように注意する。首とバンドの間に入差指と中指が入る程度の遊びがあることを確かめる(右図3)。
- シヤトルクランプの両側のタブをつまみ、内側に押さえたままトラックレール上を移動させ、気管内チューブのちょうど真上に来るようにする(右図4)。チューブストラップの剥離紙をはがし粘着剤を露出させる。気管内チューブの表面がよく乾いて汚れが付着していないことを確かめた後、チューブ



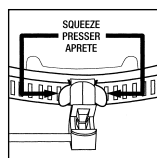
1



2

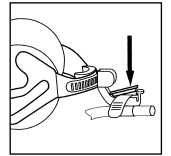


3



4

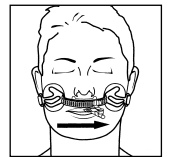
ブストラップをしっかり気管内チューブの周りに巻き、残りの部分を引っ張ってチューブ保持クランプに置き、上蓋をカチッと音がするまで閉じて固定する(右図5)。



5

【維持管理】

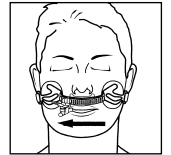
圧迫による皮膚や唇の損傷を避けるために気管内チューブを定期的に移動させる場合には、シヤトルクランプの両側にあるタブをつまんだまま内側に押さえるとロックがはずれ、気管内チューブをトラックレールにそって左右いずれの方向へも動かすことができる(右図6)。



6

【取り外し】

チューブ保持クランプのタブを手前に押し、上蓋を開く。チューブストラップを慎重に気管内チューブから剥がす。次に、ネックストラップの面ファスナーを剥がす。最後に、両方の皮膚保護剤パッドをやさしく皮膚から剥がして本品を取り去る。



6

【使用上の注意】

- 本品は小児には使用しないこと。
- 次のような場合には適用を慎重に検討すること：出歯、歯がないか上の総義歯を取り付けられない患者で気管内チューブの使用に際して上顎の支持が得られない場合、厚く腫れた唇、歯科装置を装着している場合、顔がひどく腫れた患者
- 顔が毛深い患者においては、皮膚保護剤の粘着が弱くなることもある。
- 本品を装着後も、本品及び気管内チューブがしっかりと正しく取り付けられているか頻繁に確認すること。
- 位置調整のために気管内チューブを遠位または近位側に繰り返し動かすとチューブストラップの粘着力が弱まることもある。
- 圧迫性の損傷を避けるため、少なくとも2時間に1度、または必要に応じより頻繁に、患者の唇や皮膚に異常がないか確認すること。
- 皮膚の発赤やかぶれが認められたら、すぐに使用を中止すること。

【貯蔵・保管方法及び使用期間】

【貯蔵・保管方法】

水ぬれに注意し、直射日光及び高温多湿、凍結を避けて保管すること。

【使用期限】

使用期限は個包装に記載〔自己認証（当社データ）による〕

【包装】

12セット／箱

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称及び住所等】

製造販売業者：株式会社ホリスター
住所：東京都港区高輪2-21-38 大野高輪ビル
電話番号：03-3280-6200
製造業者：ホリスター社（米国）
：Hollister Incorporated（USA）